

県図なう。

令和4年11月15日
第140号(毎月15日発行)
http://www.library.pref.kagoshima.jp
Tel: 099-224-9511



鹿児島県立図書館の“今(ナウ)”をお知らせし、図書館と利用者を結ぶ情報紙です。 鹿児島県立図書館

ホットニュース

☆印が付いたイベントについては、事前申込みが必要です。詳しくは、当館のホームページ、フェイスブック、館内チラシを御覧ください。

「県図書 ほっとフェス」を開催します!

県立図書館では、12月24日(土)・25日(日)に、「県図書ほっとフェス」を開催します。幅広い年齢層の県民を対象に、図書資料や読書活動に関するイベントを2日連続で開催します。図書館が、本と人、情報と人、人と人をつなぐ「交流の場」となる2日間です。多くの皆様の御参加をお待ちしております。

(昨年度の様子)



【ロビーコンサート】

〈1日目:12月24日(土)〉

☆かごしまの歴史文化講演会 講師:原口 泉 志学館大学教授(12/1から受付)

〈2日目:12月25日(日)〉

- バックヤードツアー(書庫見学).....10人程度を2回実施(当日受付)
- 視覚障害者等支援サービス体験会.....1回に5人程度ずつ制限なし(当日受付)
- 図書館利用講座.....先着20人(当日受付)
- 玄関ロビーミニコンサート
- ☆おはなしのじかん冬のスペシャル.....80人程度(12/1から受付)

図書館で探そう、調べよう!

～おはら祭りについて知りたい～

帰り道にバスの中から見た天文館は、提灯に照らされて一層華やかな雰囲気。おはら祭の季節です。以前、「おはら祭りについて調べるにはどうしたらよいでしょう」と質問をいただいたことがありました。

「おはら祭」を『鹿児島大百科事典』(南日本新聞社鹿児島大百科事典編纂室/編)で調べてみると、「鹿児島市政施行六〇周年を記念して一九四九年(昭和二四)に始まった」祭りだということが分かりました。現在のように、踊り手が練り歩く方式になる前は、「自動車仮装パレード」が主体だったそうです。

また、鹿児島市がインターネット上で提供しているWebサイト「鹿児島市広報デジタルアーカイブ」では、過去の「かごしま市民のひろば」を閲覧することができ、その当時の鹿児島市の様子をうかがうことができます。例えば、昭和55年10月号では、「五十万都市誕生記念」の第三十回おはら祭を特集しており、現在とは異なる場所に踊りゾーンが設けられていたことや、地域祭りとして「谷山ふるさとまつり」が始まったことが分かります。

他にも、当館では2001年に発行された『おはら祭 第50回記念』(おはら祭振興会/編)というパンフレットを所蔵しています。「おはら祭の歩み」と題して、年表と共に、過去の写真が掲載されています。また、「おはら節」と「鹿児島ハンヤ節」の基本的振付も掲載されていますので、来年こそは踊りたいという方へもおすすめです。

今年は3年ぶりに2日間開催されたおはら祭。以前のような活気が戻りつつあるのが嬉しいですね。

《一般図書》11月15日(火) **新着図書案内** 《児童図書》11月23日(水)

- | | |
|--|--|
| ○『宿命』 安倍 洋子/著 文藝春秋 | ○『タオルちゃん』 室井 滋/さく ひらぎ みつえ/え 金の星社 |
| ○『勉強法のベストセラー100冊』のポイントを1冊にまとめてみた。』 藤吉 豊/著, 小川 真理子/著 日経BP | ○『おかあちゃんにきんメダル!』 いどき えり/さく おしの ともこ/え 国土社 |
| ○『すべては脳で実現している。』 毛内 拓/著 綜合法令出版 | ○『思考の達人デカルトに学ぶむずかしい問題を考え抜く力』 齋藤 孝/著 光文社 |
| ○『奇跡の童謡』 山内 喜美子/著 大空出版 | ○『地学の図鑑 地球のしくみがわかる』 杵島 正洋/著 技術評論社 |
| ○『居場所がないのがつらいです』 高橋 源一郎/著 毎日新聞出版 | ○『13歳からのウクライナ戦争150日新聞』 黒井 文太郎/監修 宝島社 |

催し物の御案内

かごしまの歴史文化講演会



【演題】近代日本の建設者
～五代友厚と島島尚信～

日時: 令和4年12月24日(土)
13:30～15:25(受付13:00～)

会場: 鹿児島県立図書館1階大研修室
定員: 100人程度+別室視聴30人

〈講師〉
原口 泉
志学館大学教授

※ 申込方法
所定の様式(県立図書館HPに掲載)により、県立図書館カウンターに提出するか、FAX送信又は電話でお申し込みください。

【問い合わせ先】
県立図書館資料課
TEL 099-224-9515
FAX 099-224-5824

※ 申込期間
令和4年12月1日(木)9時から
定員に達するまで。

県立図書館に届いた「宝本」エピソード

今回紹介していただいた宝本は、みやにし たつや/作・絵の『あなたがとってもかわいい』(金の星社)です。

下に娘が生まれてからも赤ちゃん返りもせずによいお兄ちゃんだった息子が「赤ちゃんになりたい...。」と言いました。理由は赤ちゃんはかわいいって言われるから。自分でできることが増えた息子に「お兄ちゃんだからできるでしょ。」といつも注意ばかりしていたことを反省しました。

この絵本を読むと息子も嬉しそうにニコリ。私も思わず息子をぎゅっと抱きしめていました。大きくなって何度でも読んであげたいと思う私の宝本です。



図書館クイズ

にじいろのほん『けんかのきもち』
柴田 愛子/文, 伊藤 秀男/絵 (ポプラ社) からのクイズです。

おやつに たべたのは?

- ①ぎょうざ ②ケーキ ③おこのみやき

ヒント
にたり、やいたり...

答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、12月14日(水)までに入れてください。正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。

前回の答えは「①くも」でした。
たくさんのお応募ありがとうございました。

図書館職員のつぶやき

県立図書館には、巻物や掛軸など、歴史的価値のある、今では得がたい、当館にしかない貴重資料があります。永く後世に伝えていく文化的な財産ですので、破損や滅失を避けるため、普段は職員の立ち入りも制限した部屋で保存しています。年2回開催している貴重資料紹介展では、その中の資料を限定して展示しています。

本年度の第1回は「琉球と薩摩」をテーマとして開催しました。薩摩と琉球は、和歌や書道、茶の湯などの文化面で交流がなされていることから、県立図書館に保存されている関連資料を展示しました。

第2回は「近代化を目指す幕末の薩摩」をテーマとして12月27日(火)から開催する予定です。今年、生麦事件から160年になります。近代化を目指し開国に向かっていく幕末の薩摩における歴史的な出来事や、そこに活躍した人物たちに関する貴重資料を展示・紹介する準備をしています。ぜひ、御覧ください。

図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
11月	13	14	15	16★	17	18	19◆
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30★	1	2	3
12月	4	5	6	7★	8	9	10
	11	12	13	14★	15	16	17◆

○ 開館時間 火曜日～土曜: 9時～21時

日曜日・祝日(白抜): 9時～17時

- は、休館日
- は、学習室のみ開室(9時～17時)
- ★ は、おはなしのじかん(毎週水曜日15時30分～16時)
- ◆ は、土曜版おはなしのじかん(第3土曜日14時～)
- ◇ は、一般閲覧室新着図書の日(11月15日, 30日, 12月13日予定)
- は、児童文化室新着図書の日(11月23日)

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、変更になる可能性があります。